

<日商簿記1級商業簿記ミニテスト11 繰延資産と引当金> 問題

<問題1>

(注解15)

将来の期間に影響する特定の費用は、次期以降の期間に配分して処理するため、経過的に貸借対照表の( )に記載することができる。

①( )に入る文字を記しなさい [ ]

②この項目が計上される表示区分を述べよ [ ]

③この項目を次期以降の期間に配分して処理する根拠を次の2つのキーワード[発現・対応]をまじえて述べなさい。

全経上級類題

<問題2>

次の①～⑤までの引当金を、資産に係る引当金にはAを、負債に係る引当金にはBを記入しなさい(65回税理士試験)

①製品保証引当金 [ ]

②事業構造改善引当金 [ ]

③投資損失引当金 [ ]

④債務保証損失引当金 [ ]

⑤貸倒引当金 [ ]